

## 第1回ワークショップ アンケート結果

日時：令和4年10月11日（火）13時00分から15時00分

対象：市内若手プレーヤー（経営者、会社員、クリエイターなど） 15名

No	名前	所属
1	室賀 ゆう貴	経営者
2	青木 茂太	経営者
3	塚田 晃大	経営者
4	酒井 慎平	会社代表
5	篠原 裕樹	支配人
6	君島 登茂樹	会社代表
7	ワカバヤシ ヒロアキ	会社代表、クリエイター
8	須藤 悠	会社員
9	日高 健	理事
10	松尾 奈々子	団体職員
11	坂本 麻綾	編集長、ライター
12	仙波 愛弓	会社員
13	荻原 健司	市長
14	傳田 雄一	市職員
15	南澤 杏奈	市職員

## キーワード

市民性

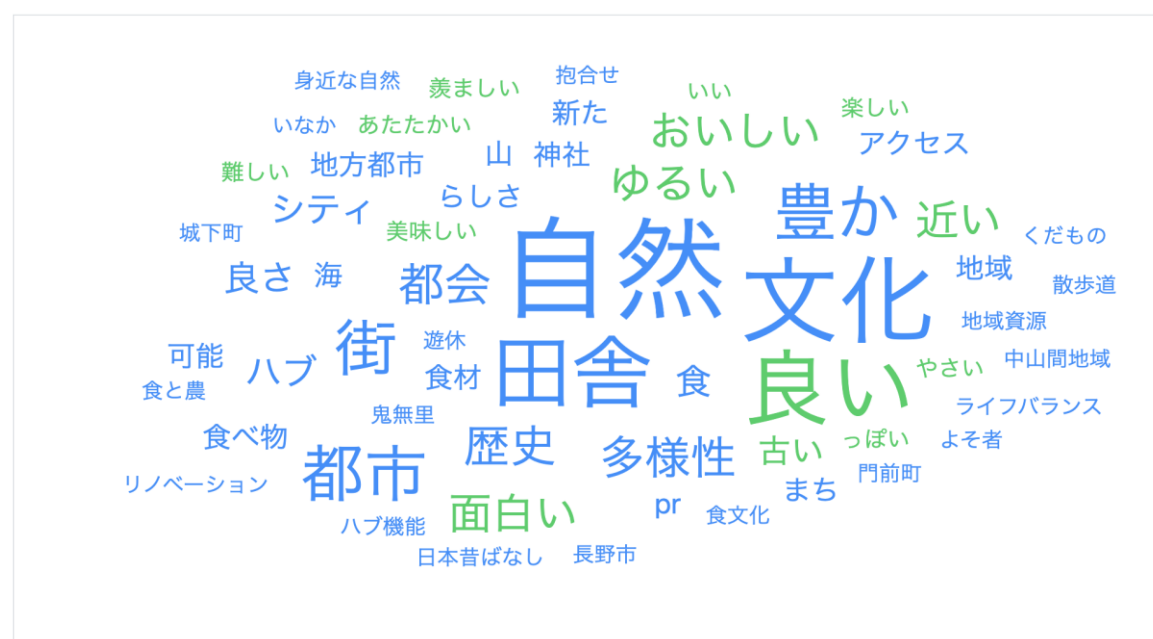
- ・ 温かい
- ・ 地元愛
- ・ 顔が見える関係
- ・ 多様性のある価値観

歴史・文化

- ・ 善光寺、門前町
- ・ リノベーション文化
- ・ レガシー
- ・ 多様性のある文化
- ・ ジブリ感
- ・ 日本昔話感
- ・ 信仰

環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうどいい田舎都会</li> <li>・自然が豊かで近い、美味しい空気</li> <li>・四季を感じられる</li> <li>・地域資源が豊か</li> <li>・魅力的な中山間地域</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤天国</li> <li>・東京など各方面へのハブ拠点（新幹線、高速道路）</li> </ul>
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果物や野菜が美味しい</li> <li>・農との結びつきが強い</li> <li>・季節感のある食文化</li> <li>・名産が多い</li> <li>・食の可能性がある</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非日常性を備えた気軽な遊び先</li> <li>・潜在的な魅力が多い</li> </ul>

## キーワードの分析



## 未来の子どもが考える「長野市らしさ」

- ・適度な便利さのあるまち
- ・おいしい果物や野菜が手頃に食べられるまち
- ・神社や祭りがある
- ・古き良き文化を大切にする
- ・食物の豊かなまち
- ・自然が豊かで身近で楽しめるまち（田舎都市）
- ・市街地だけでなく、中山間地域も含め、文化など多様性のあるまち

<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもが「のびのび遊ぶ」が当たり前なまち</li><li>・多様性を受け入れる文化</li><li>・人の温かみ</li><li>・何でもあり、そんなに困らないまち</li><li>・山あり、まちあり、面白い人あり</li></ul>
その未来に必要なヒト、モノ、コト
<ul style="list-style-type: none"><li>・この地に根差す人がつくる場（飲食店、コミュニティ等）</li><li>・始めようとすることを共有できる場</li><li>・変わったこと、当たり前じゃないことを理解し、やらせてもらえる空気感</li><li>・中心市街地に自然の豊かさを象徴するような商業施設</li><li>・多様性を受け入れる心の余裕を導く市の取組と市民の姿勢</li><li>・魅力を伝えるクリエイター同士のつながり</li><li>・古いものを大切にし、新しいことにチャレンジをする勇気や主体性のある若者</li><li>・魅力的な食材や原料の発掘</li><li>・楽しいひと、美味しいもの、さまざまな機会</li></ul>
自分だけの「長野市らしさ」
<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣市町村から見て、「いろいろあって羨ましい」場所</li><li>・身体感覚の一つ、非デジタルで五感に入ってくる</li><li>・秘密の散歩道</li><li>・城下町と門前町の混在</li><li>・よそ者を排除しない雰囲気のあるまち</li><li>・超オーソドックスな地方都市、安定感のあるまち</li><li>・リソースが多く、組み合わせからシナジーが起こせるポテンシャルのあるまち</li><li>・信仰とともに歩んだ地域ゆえの潔癖なまち</li></ul>